

ご意見・ご要望について



9月5日から4日間にわたって、管内4会場で秋季座談会を開催しました。今回の座談会では、平成30年産米の集荷・販売方針やコントリビューター稼働について、次期3カ年計画における体制整備の在り方などについて協議が行われました。出席していただいた153名の組合員のみなさまから、貴重なお意見・ご要望をいただき、その主な内容についてお伝えいたします。なお、重複している内容については、集約させていただきましたので、あらかじめご了承ください。

協議事項

平成30年産米の集荷・販売方針について

Q 直販米の割合はどれくらいでしょうか。

A 経営計画・出荷契約に基づき直販米70%、全農委託米30%の比率です。

Q カドミ米の発生については、毎年、同じ地区なのででしょうか。また、同じ生産者ですか。

A 湛水管理を出穂前後、各3週間常時水を張ることで発生が抑えられますので、前年度に発生した圃場については、湛水管

理を徹底することでカドミウム吸収を抑制できます。カドミ米については、藤琴川、米代川流域に多く発生しております。

協議事項

平成30年度コントリビューター稼働について

Q カントリーエレベーターの稼働率と現在の予約状況について教えて下さい。

A 稼働率はほぼ100%となりました。予約状況についても昨年並みとなっています。